

やはたの丘

北九州市立八幡特別支援学校

校長 西原 綾子

学校だより NO. 1

令和4年4月18日(月)

【3つのだいじ】 げんきはだいじ あいさつはだいじ やる気はだいじ

令和4年度がスタートしました

校長として本校に赴任し、2年目となりました西原綾子です。職員一同、保護者の皆様や地域の方々と共に、本校の子どもたちの成長と幸せのため、「一人一人の心に寄り添う」教育を目指して参ります。皆様の声に耳を傾け、よりよい学校づくりに努めますので、どうぞよろしくお願いいたします。

改めまして、お子様のご進級、ご入学おめでとうございます。13日に入学式が行われ、小学部12名、中学部18名、高等部17名、合計47名の新入生を迎えました。全校190名の児童・生徒で、本年度がスタートしました。

新しい環境に少しずつ慣れ、子ども達の笑顔がたくさん見られるようになってきました。その背景には、ご家庭での保護者の方の支えや先生方の関わりが大きいと感じております。ご協力ありがとうございます。



ハッピー情報

①小学部5年生の掲示物に自己紹介がありました。「料理と本を読むことが好きです。」と書いていた女の子と話をしました。すると、お家で玉子焼きを作る練習をしているそうです。卵は、お家の方に割ってもらっているけど、切り方を工夫してハート型の玉子焼きを作っていることを嬉しそうに話してくれました。親子で一緒に料理を作ることは、子どもにとって、忘れられない思い出になると思います。

②入学式の翌日、素晴らしい小学部1年生の姿を目にしました。クラスの友達と順番で、トランポリンをしていました。とっても楽しかったのでしょうか。終わりの時間になってもやめたくないお子さんがいました。次の子は、早く交代して欲しくて、まだかまだかと待ちきれない状態です。先生とやめたくない子のやり取りが続いていると、次に待っていた子が、「じゃあ、あと1回ね。」と優しく声をかけました。すると、「分かった。10回数えてね。」と笑顔で納得し、みんなで10回数えて気持ちよく交代することができました。子ども同士で折り合いを付けながら、仲よく遊ぶ姿に感心しました。



<令和4年度 学校経営方針>

学校の教育目標と目指す児童生徒像は、次の通りです。

「児童生徒の自立と社会参加を目指し、自分らしく生きる力を育成する。」

- | | |
|---------------------------|---------|
| ①よく働く子（健康で安全な生活など「健やかな体」） | ・・・げんき |
| ②礼儀正しい子（あいさつや笑顔など「心の育ち」） | ・・・あいさつ |
| ③自分でする子（学んだことを活かす「確かな力」） | ・・・やる気 |

入学式や始業式では、目指す児童生徒像を踏まえ、“3つのだいじ”についてお話をしました。

まずひとつめのだいじは 「げんきはだいじ」です。

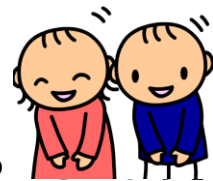
げんきは ㊦れでも ㊩きいき ㊪ょうぶなからだ



毎日、元気に学校に来てほしいと思います。規則正しい生活をして、好き嫌いせずしっかり食べて、運動をして、健康な身体を作りましょう。

ふたつめのだいじは 「あいさつはだいじ」です。

あいさつは ㊦れにでも ㊩つでも ㊪ぶんから



あいさつはコミュニケーションの第一歩です。「おはよう」と笑顔であいさつをすると、うれしい気持ちになります。自分からあいさつをするようにしましょう。

みっつめのだいじは 「やる気はだいじ」です。

やる気は ㊦れでも ㊩っぱいチャレンジ ㊪りつのちから



自分でできることを増やしていきましょう。できることが増えれば、喜びとなり、自信が付き 「生きる力」がレベルアップします。

新型コロナウイルス感染防止に向けて、学校では、マスクの正しい着用、手洗い、消毒、換気、距離などに気を付けて対策していきます。

自分や家族、大切な人の「いのち」を守るために、ご家庭でも、ご協力をお願いいたします。毎日、元気な子ども達に会えるのを楽しみにしています。

